

令和4年度第4回岩国警察署協議会会議録

開催日時	令和5年2月10日（金） 午後3時から午後5時までの間
開催場所	山口県岩国市麻里布町六丁目15番20号 岩国警察署5階 講堂
出席者	委員 杉岡 滋、木村泰博、平本登喜子、新沼淳志、轟眞由美 若林邦江、中村信利、安村稔、杉原幸枝、松田邦利、 山田知春 計11名
	警察署 署長、副署長、地域官、刑事官、交通官、警察安全相談課長 生活安全課長、地域第一課長、地域第二課長、警備課長 計10名
議題	地域に密着した警察活動の推進について
<p><b>1 会長挨拶</b>          今までは協議会が年4回開かれていたが、来年度からは3回になると報告を受けた。協議会委員の皆さんには、協議について真摯に取り組み、内容の濃い協議会にしていただきたい。          本日は、「地域に密着した警察活動の推進について」という身近に感じやすい諮問事項である。気付きがあればその都度発言していただき、闊達な会議にしたいと思う。</p> <p><b>2 署長挨拶</b>          省略</p> <p><b>3 業務推進状況説明（署長）</b>          (1) 犯罪情勢              ア 刑法犯認知・検挙状況              イ 犯罪抑止重点対象犯罪の認知状況              ウ 岩国署管内における刑法犯認知件数の推移              エ 岩国署管内におけるその他の検挙状況          (2) うそ電話詐欺発生状況等              ア 発生件数・被害額              イ うそ電話詐欺被害防止対策          (3) 麻里布地区の環境浄化活動          (4) 交通情勢</p>	

- ア 発生状況
- イ 県内における死亡事故の特徴
- ウ 管内の情勢

(5) 交通事故抑止対策

- ア 重点指向した交通指導取締り
- イ 行政機関や交通ボランティア等との連携

4 諮問事項説明（地域第二課長）

地域に密着した警察活動の推進について

5 協議

**（委員）**

駐交番の統廃合が進んでいる中、巡回中のパトカーをよく見かけることから、住民の不安感の解消や安心感の醸成はされていると思うが、住民からの意見や要望に対してはどのように対応するのか。

また、G7サミット警備に向け、警察はどのような訓練を行っているのか。

**（地域官）**

統廃合に関し、特に統合される側の住民から色々と不安の声が聞かれる。統合になった後も担当する警察官がいなくなる訳ではないので、これまでどおり巡回連絡、警らなどの活動を行っていく。

特に統合される側の地域に対する重点的な巡回連絡、ふれあい活動を行っていくとともに行政機関等と連携し住民の方と共同した活動を推進していくこととしている。

地区の人が集まる場所の警らを強化することに加え、人が来ない、集まらない、人目に触れないという所も重点地区として必ず回るようにしていく。

パトカーの赤色灯を点灯しての警らや交通立哨、交通検問などの見せる活動に加え、交通指導取締りにも力を入れ犯罪抑止活動を強化する。

**（警備課長）**

11月に岩国港において海上保安署と合同によるテロリストの制圧訓練及び爆発物処理訓練を行った。また、岩国駅において公共交通機関を狙ったテロリストの制圧訓練を行った。

今月は、新岩国駅において新幹線を狙ったテロ対策訓練を行う予定であり、来月は、岩国錦帯橋空港において総合的なテロ対策訓練を行う予定である。

**（委員）**

地域の危険な箇所を重点的に見回っていただければ犯罪や事故の抑止になると思う。

強盗があって不安に思っている人が多くおり、あんしんカードをポストに投函してもらえただけでも警察が巡回してくれているという安心感がある。

**（委員）**

あんしんカードは要望があった家のみ投函しているのか。

**(署長)**

要望があった家にも投函するが、それ以外の所にも積極的に投函している。  
特に注意を要する方やお年寄りがいらっしゃる家には積極的に投函するようにしている。

**(委員)**

虐待されている子供が交番に駆け込んで助かったというニュースを見た。岩国は都会と違って広範囲に一つしか交番が設置されていない。地理に疎い児童が警察署や交番にたどり着けるよう、警察署や交番の場所が分かるようにしてもらいたい。

子ども110番の家等が実際に稼働しているのか再点検をお願いします。

**(生活安全課長)**

子供110番の家、子供110番の車は、不審者から逃れるために駆け込んできた子供たちの安全を確保する場所となる。各小・中学校が設置を働きかけており、管内には子供110番の家が約900件、車は約380台ある。

毎年度、各小・中学校が、子供110番の家、子供110番の車の設置を見直していると聞いている。

警察では、実際に稼働しているか否かの再点検は行っていないが、学校などから子供110番の家、子供110番の車の方に対する講習会などの依頼があれば対応することとしている。

**(委員)**

学校が子供たちに、「何かあったら110番すること。子供110番の家に駆け込むこと。」を指導しているのか毎年確認していただきたい。

**(委員)**

駐在所が交番に統合されると何が変わるのか。

**(地域第一課長)**

交番は24時間、365日警察官が詰めて、そこを拠点に活動している。勤務員は三交替の勤務をしている。

駐在所は制服警察官が駐在所に併設されている居宅部分に住み込んで勤務する施設である。基本的に一人勤務で日勤である。

駐在所も交番も制服警察官が詰めており、任務は同じであるが規模が違う。夜間や重要事件が発生した場合は、交番の方が駐在所より対応が早いというメリットがある。

統合することによって駐在所はなくなるが、これまで駐在所員が行ってきた情報発信活動や巡回連絡については、引き続き交番勤務員が行うこととなる。

**(委員)**

駐在所が統合された場合、駐在所の施設から警察官はいなくなるのか。

**(署長)**

施設がなくなるので、そこには警察官がいなくなることになる。

事件事故が少ない時代には、駐在所員による対応で間に合っていたが、昨今は昼夜分けず人が動くようになり、治安維持の観点から駐在所より交番の方が即応

が可能である。

**(委員)**

駐在所の統廃合やあんしんカードについて、説明を受けてよくわかった。

パトロールは、一人暮らしをしている方だけではなく、離れて暮らす家族の安心にもつながっているなので、続けてほしい。

**(委員)**

本日欠席されている委員から質問を預かったので、代理でお伺いする。

幅広い世代の方に情報提供するために、岩国警察署独自のホームページの開設やSNSの活用を検討されてはいかがか。

**(警察安全相談課長)**

県警のホームページにおいて岩国警察署のページを設け、情報発信を行っている。SNSは警察本部の総務課がユーチューブやフェイスブックで情報発信をしているが、警察署独自での発信は行っていない。メールマガジンを発信しているので有効利用してもらいたい。

**(委員)**

ホームページの情報が古いままのところがあるので、更新してもらいたい。

**(署長)**

岩国警察署では、最新情報をメールマガジンで発信している。

**(委員)**

特殊詐欺に関して、自分事として捉えていない人が多く、注意喚起がまだ足りないと思う。会合等において注意喚起をしてもらえば1件でも減るのではないか。

**(署長)**

先程、昨年度の特殊詐欺の発生件数を説明したが、これ以外にも特殊詐欺の被害に遭ったが警察に届け出ていない方もいらっしゃるし、コンビニで被害を防いでいただいた事例もある。

皆さんも、いつ自分に電話が掛かってもおかしくないということを認識しておいていただきたい。

詐欺被害に遭わないよう、留守番電話にしておく、電話で個人情報を伝えないなど広報し、注意喚起していく。

**(委員)**

各種団体に対する講習会などを幅広く行ってもらいたい。

講習会を依頼する際の警察の窓口を教えてください。

**(地域官)**

窓口についてはどの警察官でもよい。警ら中の警察官に話してもよいし、交番、駐在所で警察官に話をしてもよい。電話でも構わない。

**(委員)**

県内では宇部に生活安全ふれあい館という参加・体験型の施設があるが、岩国駅前交番、由宇交番などにおいても、子供たちがいつでも行くことができるような、身近な存在になればと思う。

**(署長)**

庁舎見学、パトカーや白バイの見学など、これからも引き続き行ってきたい。

**6 講評（副会長）**

皆さん、しっかりとお質問されており、有意義な会議であった。

**7 配付資料**

警察業務説明資料

広報紙

あんしんカード